

2020年6月15日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

南山大学社会倫理研究所設立40周年シリーズ懇話会第3回開催のお知らせ

平素は、本学の広報活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学社会倫理研究所は、2020年5月で設立40周年を迎え、この節目の年を記念して設立40周年企画として3つの研究プロジェクトに関連するシリーズ懇話会を連続開催しております。最終回となります第3回は、「いのちの支援」研究プロジェクトに関連する懇話会を、下記の通り開催いたします。

つきましては、取材、報道にてお取り扱いいただき、広く一般に周知いただければ幸いです。

記

日 時：2020年6月27日（土）14時00分～17時30分

開催形式：オンライン（Zoom ミーティングを使用：事前申込制、定員20名

詳細は参加申込者に直接ご連絡いたします。）

共通テーマ：依存症と責任

講 師：小林桜児（神奈川県立精神医療センター 医療局長）

演 題：依存症は自己責任の病なのか？－精神病理と回復過程を検証する

講 師：佐々木拓（金沢大学人間社会研究域 准教授）

演 題：第三者による非難は適切でありうるか：薬物依存症の事例

討論者：藤城聡（愛知県精神保健福祉センター 所長）

司 会：森山花鈴（南山大学社会倫理研究所第一種研究所員／准教授）

主 催：南山大学社会倫理研究所

詳しくは、<http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/ja/activities/event/019091.html> をご参照ください。

以上



依存症と責任

講師… 小林 桜児
こばやし おうじ

(神奈川県立精神医療センター 医療局長)

演題… 依存症は自己責任の病なのか？—精神病理と回復過程を検証する

講師… 佐々木 拓
ささき たく

(金沢大学人間社会研究域人間科学系 准教授)

演題… 第三者による非難は適切でありうるか…薬物依存症の事例

討論者… 藤城 聡
ふじしろ そう
(愛知県精神保健福祉センター 所長)

司会… 森山 花鈴
もりやま かりん
(南山大学社会倫理研究所 准教授)

主催… 南山大学社会倫理研究所 (科研費19H01189 共催)

日時： 2020年6月27日(土)
14:00~17:30

開催形式：オンライン (Zoomミーティングを使用)

事前申込制 (定員20名)

社倫研Webページよりお申し込みください

有名人の逮捕など、メディアで依存症について報道を見聞きする機会は多い。依存症は限られた個人にだけ起こる特異な問題だと感じる人も少なくないだろう。そして、依存症に対しては、あってはならないものとして厳しい目が向けられがちである。しかし、果たして私たちは依存症に対して適切な理解をしているだろうか。たとえば、日本では、依存症について自己責任論で語られる傾向があるが、依存症は、意志が強いのか弱いかという要因に尽きるのだろうか。

本懇話会では、精神科医として依存症の臨床現場に携わる小林桜児先生、そして、倫理的な観点から依存症の研究を続けている佐々木拓先生をお招きして参加者の皆さんと議論していきたい。

